

2021 年度中部ブロック研修会活動報告

【日時】 2021 年 12 月 12 日（日） 10：10～12：10

【方法】 ZOOMによるオンライン研修会

【参加者】 20 名（会員 19 名 非会員 1 名）

【内容】

I 症例検討 「対人面に弱さのある症例児に対する アプローチの検討

～日常をより楽しく過ごすために～

静岡済生会療育センター令和 堀江真菜さん

小児領域の症例発表でした。小児領域 S T からは、より反応を引き出すためのアイデアや、本人の好む感覚刺激をどう活用していくか、見え方はどうかという話題があがりました。成人領域からは、発動性の低い方へのアプローチとして考えられることなど、コミュニケーションの取り方の話となりました。



II 座談会 「コロナ禍での S T 業務について」

パネリスト

静岡市立市民病院（急性期） 佐々木浩三さん

訪問看護ステーションしずおか（訪問） 佐々木智加さん

介護老人保健施設グリーンヒルズ藤枝（通所） 池谷健一さん

静岡済生会療育センター令和（小児） 橋本潤子さん

各領域から話題提供を行い、それをもとに参加者と意見交換を行いました。

寒い時期の換気のあり方、食事やレクリエーション等生活行動の変化が対象児者に与える影響の大きさ、マスク使用下で S T 指導・訓練の難しさ等が話題として挙がりました。



Ⅲ 今後の研修紹介

令和3年度「静岡県訪問リハビリテーション多職種協働研修会」開催のお知らせ

○第1部オンデマンド配信 (YouTube)

テーマ：「訪問におけるリハビリと看護の協働・連携」

ー今だから再確認！訪問における知識と技術ー

配信日時：令和4年1月8日（土）～令和4年2月4日（金）

○第2部オンライン (Zoom)

テーマ：「ICTを活用した新たな多職種連携」

ー利用者が求める連携・協働とはなにか？ー

研修日時：令和4年2月5日（土）13：30～15：00

【アンケート結果】

1. 症例検討について

- ・ 普段接することのない小児の症例について意見交換できてよかった。
- ・ 色々な視点から考えながら、検討ができてよかった。
- ・ 小児分野に介入したことがないので、面白かった。
- ・ タオルを使っての刺激統制など、生活で使うもので実践されたことは保護者の意欲維持、向上につながるように思いました。
- ・ 小児の報告を聴いて大変勉強になりました。 状況理解、やりとりの共有、など、根本は成人領域と大きく違いはないのだな、と感じました。
- ・ 成人と小児、発動性を引き出すという点で共通する部分もあり、大変勉強になった。
- ・ 対象児の好む刺激やそうではない刺激など、評価していくことの大切さを感じました。
- ・ 成人とも考え方に共通するところもあり、反応の得られにくい方にどうアプローチしていくべきか自分としても今後改めて考えていきたいと感じました。
- ・ 普段かかわらない小児の話聞き、成人でも感覚入力についてもっとよくみていかなければと思いました。
- ・ 難しい症例に多角的な評価を行ってできることを模索している姿勢が素晴らしかった
- ・ 小児を対象としたことや症例報告を聞く機会はこれまでに経験がなかったため、姿勢や表出などの評価項目や観察ポイントがとても勉強になりました。

2. 座談会について

- ・ それぞれの現場での感染対策、方法を知ることができてよかった。
- ・ 患者様のストレスや、訓練効果を考えると感染対策をしながらでは限られてしまうことが多く 難しいなと改めて感じました。 なにより、施設で過ごされている患者様が1日

もはやくご家族との時間がきちんと作ることができ、ストレスを軽減できる日が来ることを願います。

- ・STの業務自体に関わるとても重要な話題だった。
- ・各施設での取り組みをお聞きし、同じようにやっていることには「これでいいんだな」と確認ができ、新たな意見をお聞きできたことは勉強になりました。
- ・コロナ禍はST業務の根幹に影響を及ぼしています。収束を願う気持ちがさらにさらに強くなりました。
- ・人とかかわれるようにするコミュニケーションできるようにするのがSTなのに制限があるのでそれに対し毎日モヤモヤしているので同じ意見がある人がいて安心した。
- ・もう少しいろいろな方の意見が聞けたらよかった。
- ・自分の職域と異なるところの現状をきけてとてもよかった
- ・訪問ならではの、ご家庭による感染対策意識の違いや、用意すべき予防策セットを、実物を写してくださるなどのプレゼン方法のご配慮により、学びを深められました。

3. オンライン開催について

① 中部ブロック研修会の今後の形式について

WEB開催がよい…41% 情勢によって対応を変えてほしい…53%

- ・Web上での討議の難しさを感じた
- ・共有したい時に、実際の状況や流れの中に入れないことがある
- ・発言する人が限られやすいかも
- ・移動がなくて便利

② WEB開催上のトラブル

- ・受講中画面共有できないことがあった…1件
- ・音声の途切れがあった…2件
- ・資料閲覧できず問い合わせた…1件

4. 今後希望する研修内容

- ・各施設の緊急対応の流れや実際のケース
- ・種村純先生の講義
- ・地域の分野の話で座談会 デイや老健、訪問等
- ・小児を対象とした嚥下障害について
- ・訪問リハビリについて